

復活節第3主日・(白)

主日礼拝

2025年5月4日 10時20分～

司式:

奏楽:

《神の招き》

前奏 奏
招詞 詞
賛美歌 歌
『主は死にたまいしが、甦りて』 S. シャイト
イザヤ書43章11節
21-16

《神の言葉》

祈禱 書
聖霊の照らしを求める祈り
列王記上17章17～24節 (旧約548頁)
マタイによる福音書12章38～42節 (新約22頁)

こども説教
交読詩編 詩編116編1～14節 (138頁)
賛美歌 21-505
説教 「ヨナにまさるもの」 八木浩史牧師
祈禱
賛美歌 21-364

《感謝の応答》

信仰告白 使徒信条
役員就任式 21-98
献金 献金当番
祈禱
主の祈り (週報表紙、ホームページ掲載)

《派遣》

頌栄 545A
祝福
報告 5月誕生者祝福
後奏

礼拝当番: (役員:) 献金当番:
音響: 映像:

■■■ 調布教会は2026年度に創立80周年を迎えます! ■■■

「ヨナにまさるもの」

『列王記上』では、やもめの息子が病気になって死にます。エリヤが身を寄せていた家の母親はエリヤに、「あなたは…息子を死なせるために来られたのですか」と訴えます。そこでエリヤは死んだ子を預かり、主なる神に祈ると子どもは生き返ったのです。母親は「あなたが神の人であることが、たった今分かりました。あなたの口にある主の言葉は真実です」と言います。この母親は、死ねばおしまいだと思っていたのですが、神はエリヤを通して、彼女の思いを超えた喜びを与えられたのです。

『マタイによる福音書』では、律法学者とファリサイ派の人々が主イエスに「しるし」を要求します。証拠無しに信じることはできないということです。その「しるし」とは、要するに、彼らの願いを叶えるかどうかということです。私たちは自分の願いを叶えるかどうかで、神を判定しようとしてしまいます。しかしそれでは神を小さくしてしまうのです。神は私たちの思いを超えた御方であり、私たちを深く愛してくださるのです。御言葉をそのまま受け入れる者となるなら、私たちが受ける恵みも思いを超えて大きくなります。主イエスは真に神の御子でいらっしゃる。ヨナが三日三晩、大魚の腹の中にいて出て来たように、主も死なれてから三日目に墓から出て来て復活なさるのです。やがては大勢の人々をも復活させます。主を信じるなら、私たちも復活の恵みに与ることができるのです。ニネベの人々はヨナが語る御言葉を聴いて信じ、悔い改めました。私たちも主イエスの御言葉によって、この方こそ神の子・救い主であると信じるよう促されるのです。